令和6年 月 日

第6回ESGファイナンス・アワード・ジャパン応募申請書
（評価・情報提供部門）

|  |
| --- |
| 以下の「個人情報の取り扱いについての確認事項」に同意の上、御応募をお願い致します。【個人情報の取り扱いについての確認事項】1. 御記入いただいた個人情報は、当社の「個人情報保護方針」（https://www.murc.jp/corporate/privacy/）及び、「個人情報の取り扱いについて」（https://www.murc.jp/privacy/）に従って適切に取り扱います。
2. お預かりした個人情報は、当社において、本表彰制度の運営及び本表彰制度に関する御連絡、今後の関連イベントのご案内、表彰制度企画の参考の目的に限って利用し、厳重に管理いたします。
3. お預かりした個人情報は、法令等に基づく場合を除き、ご本人の同意なく第三者には提供いたしません。ただし、当社業務の委託元である環境省とは共有させて頂きます。
4. お預かりした個人情報は、業務委託により当社以外の第三者にその取り扱いを委託する場合がございます。そうした場合には、十分な個人情報保護の水準を備える者を選定し、契約によって個人情報の保護水準を守るよう定め、個人情報を適切に取り扱います。
5. お預かりした個人情報の開示、訂正、利用停止等若しくは利用目的の通知の御請求、又は個人情報に関する苦情のお申し出、その他のお問合せにつきましては、下記までご連絡ください。

【お問い合わせ先（事務局）】ESGファイナンス・アワード・ジャパン事務局三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社　サステナブルビジネス戦略センター担当：正垣、小豆島、奥野E-mail：esgf-award-kinyu@murc.jpTel：03-6733-4957 （祝日を除く月～金の 10:00～17:00） |

1. 応募する取組等の名称

※　取組の内容を踏まえて、提案事業の名称を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

1. 応募者概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 企業・団体 | 企業・団体名（日本語） |  |
| 企業・団体名（英語） |  |
| 直近年度決算期 | 　　　年　　月 |
| 期末従業員数 |  |
| 総資産（百万円） |  |
| 直近年度売上高（百万円） |  |
| 担当者 | 氏名(ふりがな) |  |
| 所属部署 |  |
| 役職 |  |
| 電話番号 |  |
| E-mail |  |
| 連名の場合 | 社名１ |  |
| 社名２ |  |
| 社名３ |  |

1. 希望する応募方式

|  |  |
| --- | --- |
| □ | 一般応募 |
| □ | 簡易応募（特別賞・テーマ別賞のみを目指す方向け） |

* 一般応募を選択した場合は、自動的に特別賞・テーマ別賞の審査対象にも含まれます。
* 簡易応募の場合は、「４．基本的事項の確認」に回答した後、5．を省略し、「６．代表的な商品・サービス」の項目へ進んでください。
1. 基本的事項の確認
2. 自社・自団体および子会社等において、法令違反や重大な懸念事項を有していないことを確認していますか。
※前年度、今年度において、監督官庁による行政処分を受けていないこと。また、法令違反や重大な懸念事項が生じていないことが応募要件です。詳細は募集要項の6.（2）応募対象・資格をご確認ください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| □ | 確認している | □ | 確認していない |

※なお、応募申請書提出後に上記に該当する事案が発生した場合は、すみやかに事務局までご申告ください。

1. 財務の健全性確保や、法令違反や重大な懸念事項を回避するためのガバナンス体制を構築していますか。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| □ | 構築している | □ | 構築していない |

構築している場合は、そのガバナンス体制について記載してください。

※レポートやウェブサイト等で情報を公表済みの場合は、情報の所在（レポート名とページ番号、URL等）の記載のみで構いません。

|  |
| --- |
|  |

1. 取組内容

|  |
| --- |
| **＜一般応募用です＞**募集要項に記載の「表彰対象となる取組の概要」を踏まえて、応募する取組内容について記載してください。* 応募内容は、”E”（環境）を中心に記載をお願いいたします。全体で10～15枚以内としてください。
* レポートやウェブサイト等で情報を公表済みの場合は、情報の所在（URL、レポート名・ページ番号等）の記載のみで構いません。
 |

【目標・戦略・フレームワーク】

1. ESG金融の拡大や環境・社会に対してポジティブなインパクト（注1）を与えることを目的にした情報提供あるいは金融商品及び企業の評価を実施するための方針・戦略、中/長期目標（注2）をどのように定めていますか。

（注1）インパクトについては、環境省「インパクトファイナンスの基本的考え方」2020年7月（<http://www.env.go.jp/press/files/jp/114284.pdf>）をご参照ください。

（注2）環境・社会関連の目標あるいはサステナブルファイナンスに関する目標を記載してください。また、中期目標、長期目標の両方（ある場合）を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

1. ①に関する戦略や方針に基づいた取組を促進していくための実効性のある取組計画および体制について記載してください。

|  |
| --- |
|  |

1. ①②を踏まえ、設定した目標や取組計画に対する進捗状況について記載してください。また、それらを開示している場合は、開示先について記載してください。

|  |
| --- |
|  |

1. ①に関する戦略や方針に基づいた取組、必要に応じて組織内外が連携した取組について記載してください。
（評価を申請対象とする場合、評価における透明性確保のための取組についても記載してください。）

|  |
| --- |
|  |

1. 第６次環境基本計画（注）を踏まえ、気候変動対策、循環経済、ネイチャーポジティブ等の実現に資する投融資の拡大を図っていますか。あれば、その内容を記載してください。
関連して、気候変動対策、循環経済、ネイチャーポジティブの同時達成に向けた統合的な資金の流れを生み出す取組があれば、記載してください。
（注）第6次環境基本計画については、こちら（<https://www.env.go.jp/council/02policy/41124_00012.html>）をご参照ください

|  |
| --- |
|  |

1. 第６次環境基本計画を踏まえ、支援の必要な中堅・中小企業に対し、伴走支援を通じたサステナビリティ経営への貢献や普及啓発を行っている場合は、その内容を記載してください。又は、個人・消費者に対し、将来にわたって「ウェルビーイング／高い生活の質」をもたらすようなESG投資・金融の普及啓発を行っている場合は、その内容を記載してください。（CSRを超えてビジネスとして取り組んでいる場合のみに限定します）

|  |
| --- |
|  |

【透明性】

1. 関連情報の提供や評価にあたって、透明性を確保するための取組を定めていますか。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| □ | 定めている | □ | 定めていない |

“定めている”に✔した場合、その内容について記載してください。

|  |
| --- |
|  |

1. ⑦について、開示をしていますか。開示をしている場合はその開示先を以下に示してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 開示項目１ |  |
| 開示先 | URL：  |

　※開示先には、該当箇所がわかるようにページ数等を記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 開示項目２ |  |
| 開示先 | URL：  |

　※開示先には、該当箇所がわかるようにページ数等を記載してください。

1. 評価やデータ収集のメソドロジーや運営体制での透明性の向上に向けて、どのような取組をしていますか。（関連するイニシアティブへの参加等）

|  |
| --- |
|  |

【体制・実績】

1. ①で提示した中/長期の目標を達成するために、経営層がどのようにコミットメントしているか、またそれを実現するためのPDCA体制があるか、以下に記載してください。

|  |
| --- |
|  |

1. ESG関連の情報を扱っている企業/金融機関数あるいは情報提供数、ESG関連の取組を対象とした評価数を記載してください。項目１～３のうちいずれか１つは、「6．代表的な商品・サービス」で記載をする商品・サービスの実績について記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 項目１ |  |
| 2022年度 |  | 2023年度 |  | 2024年度（9月末まで） |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 項目２ |  |
| 2022年度 |  | 2023年度 |  | 2024年度（9月末まで） |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 項目３ |  |
| 2022年度 |  | 2023年度 |  | 2024年度（9月末まで） |  |

1. ESG金融の普及促進・ポジティブインパクト創出に向けたステークホルダー・エンゲージメントを組織として行っていますか。（例：政策提言や政府への働きかけ（アドボカシー）、鍵となる地域の関係者の巻き込みや協働）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| □ | 行っている | □ | 行っていない |

“行っている”場合は、その内容を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

1. ESG金融やインパクトファイナンス実践のために、組織内の人材開発を行っていますか。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| □ | 行っている | □ | 行っていない |

“行っている”場合は、その内容を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

どちらの場合も、以下のアンケートにご協力ください（評価対象外）。

a. ESG金融やインパクトファイナンス実践にあたり、人材開発にどのように取り組んでいますか（複数回答可）

□新卒採用

□中途採用

□育成

□外部連携・人材交流（一時的な増強）

□配置転換・異動

□資格取得支援（脱炭素アドバイザー資格等）

□その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□行っていない

b. ESG人材開発の内容（最も力を入れているものを1つ）

□脱炭素への移行、循環経済への移行、自然再興への取組等「個別分野の専門人材」

□ESGやSDGsに関するビジョンの作成、取組検討を推進する社内の「リーダー人材」

□事業者や自治体等との対話や関係者の巻き込みを行う「コーディネート人材」

□その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□行っていない

c.人材が求められる個別分野（最も求めている分野を1つ）

□気候変動

□自然・生物多様性

□サーキュラーエコノミー

□人権

□人的資本

□その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

d. ESG人材開発における主な課題（複数回答可）

□中途採用が困難

□育成を担う人材の不足

□利用可能な研修材料や資格等の不足

□コスト

□社内の理解

□ビジネス需要が不十分

□社外との連携が困難

□その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

【インパクト】

1. 取組を通じて、評価や情報を活用する主体によるESG投融資やエンゲージメントが行われ、投融資先企業の環境・社会にポジティブなインパクトを与える取組をどのように促進していますか。また、左記の取組により創出されたインパクトを把握している場合は、どのような方法でインパクトの特定をしているか、そのインパクトがどの程度か、またどのように開示をされているか記載してください。（インパクトについては定性的な記載でも構いません。）

|  |
| --- |
|  |

【新規性・波及性】

1. ESG金融の拡大や環境・社会に対してポジティブなインパクトを与えることを目的とした情報提供あるいは金融商品及び企業の評価に関する新規性や独自性について記載してください。また、どのようにしてESG金融の拡大につながっているか、記載してください。なお、ここでの新規性には、自社にとって新たな挑戦であり、今後の行動様式にポジティブな影響を与えることに繋がるような場合も含んでいます。

|  |
| --- |
|  |

1. ESG金融に関連するイニシアティブ等に署名、参加していますか。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| □ | 署名・参加している | □ | 署名・参加していない |

署名・参加しているに✔した場合、署名・参加しているイニシアティブの名称、関連する活動について記載してください。

|  |
| --- |
|  |

1. 代表的な商品・サービス（最大2つまで）

※２つ目を記載する場合は、フォームをコピーして追記してください。

1. 代表的な商品・サービスの概要（5．⑪で実績を記載したものとしてください）

|  |  |
| --- | --- |
| 商品・サービス名 |  |
| 参考URL |  |
| 概要 |  |

【インパクト】

1. ①で記載した商品・サービスでは、どのようなインパクトを創出しようと意図していましたか。あるいは、どのようにして創出したインパクトを把握し、開示していたかを記載してください。
※レポートやウェブサイト等で情報を公表済みの場合は、情報の所在（レポート名とページ番号、URL等）の記載のみで構いません。

|  |
| --- |
|  |

1. ①で記載した商品・サービスでは、どのように商品・サービスの提供先主体/購入者の取組（戦略・計画策定や実行等）を促進するような仕組みとなっているかを記載してください。
※レポートやウェブサイト等で情報を公表済みの場合は、情報の所在（レポート名とページ番号、URL等）の記載のみで構いません。

|  |
| --- |
|  |

1. ①で記載した商品・サービスの提供を通じて創出されたインパクト等について記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 内容 |  |
| 開示【任意項目】 | 開示先※ ：※開示先には、該当箇所がわかるようにページ数等を記載してください。URL　　　： |

【透明性】

1. ①で記載した商品・サービスにおいて、透明性をどのように確保していますか。また、上記に関する内容を開示していますか。

|  |  |
| --- | --- |
| 内容 |  |
| 開示 | 開示先※ ：※開示先には、該当箇所がわかるようにページ数等を記載してください。URL　　　： |

【新規性・波及性】

1. ①で記載した商品・サービスに関する新規性や独自性について記載してください。また、どのようにしてサステナブルファイナンスの拡大につながっているか、記載してください。なお、ここでの新規性には、自社にとって新たな挑戦であり、今後の行動様式にポジティブな影響を与えることにつながるような場合も含んでいます。
※レポートやウェブサイト等で情報を公表済みの場合は、情報の所在（レポート名とページ番号、URL等）の記載のみで構いません。

|  |
| --- |
|  |

【特別賞へのPR】

* **特別賞の審査を希望される場合は、記載した取組内容が**該当する（取組内容が先進的あるいは特徴的である、企業規模に照らして優れた取組である）と考えるポイントを200字以内で記載してください。

|  |
| --- |
|  |

【テーマ別賞へのPR】

* **テーマ別賞（カーボンニュートラル賞、ネイチャーポジティブ賞、サーキュラーエコノミー賞）の審査を希望される場合は**、**記載した取組内容が**該当すると考えるポイントを200字以内で記載してください。
※テーマ別賞の「選定の視点」は、募集要項７.（4）③を御覧ください。
※カーボンニュートラル、ネイチャーポジティブ、サーキュラーエコノミーのいずれの観点での記載か、明記してください。

|  |
| --- |
|  |